

地域漁業復興プロジェクト進捗状況 ― 認定済み計画 ― (H27年12月10日現在)

【個別計画認定状況】(計28件)

- 11 北まき・石巻(大中まき): 船団縮小(5→2隻)、省エネ・省コスト、高品質化【H25.2～H28.1 新船型】
- 12 亘理(小型底びき網): 小底と敷網漁業との兼業化【H25.1～H28.1 新船型】
- 14 遠洋まぐろ延縄・女川①: 省エネ、低燃費操業、新たな拠点整備【H25.1～H28.1 新船型】
- 15 八戸(遠洋底びき網): 欧州型漁船の導入、新漁場の利用等【H25.8～H28.8 新船型】
- 17 北まき・波崎④(大中まき): 船団縮小(4→3隻)、新型揚網機の導入【H25.6～H28.6 新船型】
- 19 全さんま・歯舞(さんま棒受網): LED化による燃油消費量の削減、さんまの高付加価値化【H25.8～H28.9 新船型】
- 22 北まき・鮎子(大中まき): 船団縮小(3→2隻)、小型鮮魚パックの導入等【H26.4～H29.3 新船・既存船型】
- 23 遠洋かつお一本釣り・東・中日本: グループ操業、燃油消費量の削減、魚艙の設備改良等【H25.3～H28.3 既存船型】
- 24 遠洋かつお一本釣り・気仙沼②: S-1製品の製造、燃油消費量の削減等【H25.2～H28.2 既存船型】
- 25 全国遠洋まぐろ・気仙沼: 年2航海操業、労働環境の改善、次世代型冷凍システムの導入等【H25.11～H28.11 新船型】
- 26 全さんま・大船渡②(さんま): LED漁灯の導入、漁獲物の船上箱詰め等【H25.8～H28.8 新船型】
- 28 千葉(中まき): 船団縮小(7→5隻)、船型の改革による省コスト化、コンテナバッグの導入【H26.4～H29.3 新船型】
- 29 宮古・釜石②(沖合底びき網): 省エネ型新船、省人・省力化、高付加価値化【H26.4～H29.3 新船型】
- 30 三陸やまだ(定置網): 構成船のスリム化によるコスト削減、高鮮度漁獲物の供給【H25.4～H28.4 新船型】
- 31 八戸③(大中まき): 活魚、鮮魚、凍結魚の搬送可能な運搬船の導入等【H26.10～H28.9 新船型】
- 32 仙台湾(刺し網): マサバ刺し網から釣りへの転換、活魚出荷等【H25.10～H28.9 既存船型】
- 33 田野畑村(定置網): 網規模縮小によるコスト削減、定員削減等【H26.4～H29.3 新船型】
- 34 全さんま・大船渡③(さんま): 省エネ・省コスト漁船、船上箱詰め等【H26.8～H28.8 新船型】
- 35 全さんま・大船渡・綾里(さんま): 省エネ漁船、兼業漁業、船上箱詰め等【H26.8～H28.8 新船型】
- 36 北まき・大津②(大中まき): 運搬機能付き網船導入および新型網船導入による船団縮小(3→2隻)等【H27.5～H30.4 新船型】
- 37 石巻底びき(貝桁): 資源管理に配慮したグループ操業等【H26.9～H28.8 既存船型】
- 38 北まき・大津③(大中まき): 199トン型新型網船導入による船団縮小(3隻→2隻)、運搬船の共同利用等【H27.10～H30.9 新船型】
- 39 北まき・大津④(大中まき): 運搬機能付き網船導入による船団縮小(3→2隻)等【新船型】
- 40 北まき・波崎⑤(大中まき): 船団縮小による合理化、コスト削減等【新船型】
- 41 全さんま(大型)・富山(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【新船型】
- 42 全さんま(大型)・宮城(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【新船型】
- 43 全さんま(小型)・大船渡④(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【新船型】
- 44 全さんま(小型)・宮城(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【新船型】

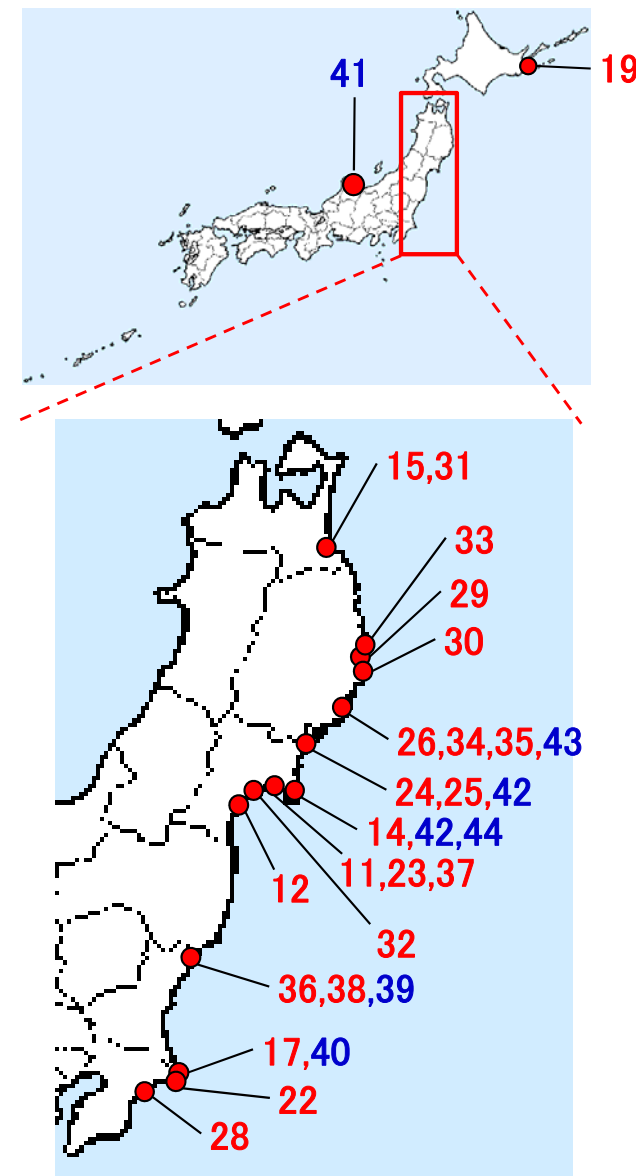
※赤字: 事業実施中、青字: 今後実施予定

※計画を運営する地域漁業復興プロジェクト(17件)に対し必要経費を助成

※計画期間の下線はもうかる漁業からがんばる漁業に移行した計画(11件)

【全体計画(マスタープラン)認定状況】(計2件)

- 1 北部太平洋海区大中型まき網漁業復興計画【大中型まき網】
- 18 全国さんま棒受網漁業復興計画【さんま棒受網】



○ 個別計画	42件
○ 全体計画	2件
○ 合計	44件

地域漁業復興プロジェクト進捗状況 ― 実証事業を終了した計画 ― （H27年12月10日現在）

【個別計画終了状況】（計14件）

No.	改革計画・漁業種類	コンセプト	取組型	事業期間
2	北まき・小名浜①(大中まき)	船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統4隻)、漁獲物の高鮮度維持	新船型	H24.6～H27.5
3	北まき・波崎②、③(大中まき)	船団縮小(4→3隻)、生産コスト削減	新船型	H24.4～H25.3 H24.2～H27.1
4	北まき・小名浜②(大中まき)	船団縮小(4→3隻)、コンテナバックの導入	新船型	H24.6～H27.5
5	八戸(大中まき)	船団縮小(4→3隻)、船凍品の開発	新船型	H24.5～H26.4
6	全さんま・大船渡(さんま)	コスト削減、高付加価値	新船型	H24.10～H26.9
7	全さんま・気仙沼(さんま)	兼業型・改革型漁船の導入、安全性確保、高付加価値化	新船型	H24.9～H27.8
8	気仙沼(近海まぐろ)	集団操業、水揚量の均衡化、ペア操業による省エネ等	既存船型	H24.4～H27.3
9	遠洋まぐろ延縄・気仙沼	船上ロイン加工、省エネ	既存船型	H24.5～H27.4
10	遠洋かつお一本釣り・女川②	一本釣りともき網漁業によるハイブリッド化	新船型	H24.4～H27.3
13	宮古・釜石(沖合底びき網)	省エネ・省人・省力化、高鮮度出荷等	新船型	H24.7～H27.6
16	北まき・大津(大中まき)	船団縮小(3→2隻)、省エネ・省コスト	新船型	H25.4～H27.5
20	宮城県沖底(沖合底びき網)	グループ操業による漁場の有効利用及び付加価値向上	既存船型	H24.9～H27.8
21	新おおつち(定置網)	船団縮小、周年操業、氷蔵を備えた網船の導入	既存・新船型	H24.9～H27.8
27	石巻底びき(沖底・小底)	低コスト操業と高付加価値化	新船型	H25.2～H27.1

※計画期間の下線はもうかる漁業からがんばる漁業に移行した計画（11件）

